



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2024年2月8日

上場会社名 ぴあ株式会社 上場取引所 東
コード番号 4337 URL <https://corporate.pia.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢内 廣
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役コーポレート担当 (氏名) 吉澤 保幸 TEL 03-5774-5278
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	28,729	19.7	986	118.0	940	185.4	710	△24.4
2023年3月期第3四半期	23,991	13.4	452	—	329	—	940	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 721百万円 (△23.7%) 2023年3月期第3四半期 945百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	46.57	—
2023年3月期第3四半期	61.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	80,240	5,075	6.3	332.58
2023年3月期	74,798	4,354	5.8	284.99

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 5,075百万円 2023年3月期 4,351百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2024年3月期の配当予想につきましては、現時点で未定としています。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	0.7	1,200	46.3	1,000	66.5	900	△36.4	58.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、決算短信（添付資料）8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	15,621,313株	2023年3月期	15,358,813株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	358,932株	2023年3月期	90,969株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	15,265,294株	2023年3月期3Q	15,256,940株

（注）株主資本において自己株式として計上されている役員株式給付信託（BBT）が保有する当社株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）2ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の鎮静化に伴い、消費・経済活動の正常化とインバウンド需要の回復が進んでいます。一方、常態化する円安や長期化する物価上昇、不安定な国際情勢など、景気の下振れリスクが存在しており、先行き不透明な状況が継続しております。当社が事業基盤とする国内レジャー・集客エンタテインメント市場は、各種集客制限も撤廃され、これまで抑制されてきたエンタメ活動への反動消費に伴いライブ・イベント開催の動きが活発化し、当社シンクタンクであるびあ総研の調査でも、コロナ禍前を凌ぐ規模に復調しています。興行規模の拡大、チケット単価の上昇等により、市場全体が堅調な推移を辿っていますが、資材や物流費、人件費の高騰の影響を受け、今後の見通しは楽観できないものと考えられます。

こうした経営環境下、新たな中期経営計画(2023~2025年度)の初年度となる当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、第2四半期に続き、スポーツジャンルの活況や人気アーティストの全国ツアー、ドーム規模の来日公演の大型案件等により、取扱高ベースでの売上は1,800億円規模となり、第3四半期連結累計期間での過去最高の水準を維持しております。主催事業や出版商品、びあアリーナMMの稼働率等が堅調だったことも併い、営業利益、経常利益においても、期初想定を上回る形で推移しております。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高287億29百万円(前年同四半期は売上高239億91百万円)、営業利益9億86百万円(前年同四半期は営業利益4億52百万円)、経常利益9億40百万円(前年同四半期は経常利益3億29百万円)、ソフトウェアの一部減損による特別損失1億50百万円を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益7億10百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益9億40百万円)となりました。

売上に貢献した主なイベントや商品は次のとおりであります。

<イベント>

- ・プロ野球公式戦/サッカーJリーグ/大相撲
- ・リポビタンDチャレンジカップ/FCバイエルン・ミュンヘン対マンチェスター・シティFC AudiFootball Summit/横浜F・マリノス対マンチェスター・シティFC 明治安田Jリーグワールドチャレンジ2023
- ・ROCK IN JAPAN FESTIVAL/びあフェス(当社主催)/ap bank fes/MTVVMAJ2023(当社主催)/COUNTDOWN JAPAN/KCON JAPAN 2023(当社主催)
- ・COLDPLAY/ブルーノ・マーズ/Stray Kids/Billy Joel/Ed Sheeran/B'z/松任谷由実/Mrs. GREEN APPLE/Mr. Children/福山雅治/UVERworld/J01/INI
- ・コミックコンベンション/シルク・ドゥ・ソレイユ・アレグリア/ディズニー・オン・アイス

<商品>

- ・大谷翔平語録
- ・森のカフェと緑のレストラン

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、802億40百万円となり、前連結会計年度末と比較して54億42百万円増加いたしました。流動資産は567億44百万円(前連結会計年度末比53億84百万円増)となりました。変動の主なものは、現金及び預金の増加(同25億57百万円)であります。また、固定資産は234億95百万円(前連結会計年度末比57百万円増)となりました。変動の主なものは、無形固定資産の減少(同1億36百万円減)であります。

負債は、751億64百万円となり、前連結会計年度末と比較して47億20百万円増加いたしました。流動負債は554億18百万円(前連結会計年度末比10億15百万円減)となりました。変動の主なものは、買掛金の増加(同26億8百万円)と1年内返済予定の長期借入金の減少(同80億50百万円)であります。固定負債は197億45百万円(前連結会計年度末比57億36百万円増)となりました。

純資産は、50億75百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億21百万円増加いたしました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が7億10百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、新規事業群の戦略的投資活動の強化、経営全般に及ぶ人的資本の確保・拡充の遂行、加えて関西万博等の大規模受託事業の帰趨がまだ不透明なこと等も勘案し、前回公表の予想数値に変更はございません。

当第3四半期までの業績は、新型コロナウイルス感染症の5類移行後の市場回復と、反動消費の追い風を受け、基幹事業群(チケット流通を中核としたバリューチェーン事業)の実績はコロナ禍前を上回る形で好調に推移し、こうした基幹事業群の力強い回復によって中期経営計画初年度としての通期目標の達成は十分に見通せる状況にきております。一方、第4四半期以降の基幹事業群の好況の継続には、諸物価の上昇や社会・業界全般的な人手不足等の問題の顕在化により、一定の減速リスクがあるものと想定しております。

加えて、中期経営計画の達成に向け、鋭意準備を進めてきた「グローバル・イベント(万博等の国際イベントのチケットング業務)」、「DMS(デジタルメディアサービス事業)」、「ホスピタリティ事業(VIP向け高付加価値体験パッケージの販売)」等の新規事業群においては、本格的な事業化の端緒にあり、基幹事業群の好調を背景に、こうした事業群への戦略的投資を積極化しております。その持続的な成長を確保するとともに、この間の社会情勢を踏まえ、人的資本の確保・拡充を当社経営の中核に据えた人的資本経営にも注力し、従業員の採用や待遇改善を進めております。

以上の通り、集客エンタメ市場の減速リスク、新規事業群の戦略的投資活動の強化、経営全般に及ぶ人的資本の確保・拡充の遂行、加えて関西万博等の大規模受託事業の帰趨が不透明なこと等も勘案し、通期連結業績予想につきましては、期初(5月)公表の予想数値に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,356	28,913
売掛金	21,612	21,910
棚卸資産	77	85
その他	3,328	5,850
貸倒引当金	△14	△15
流動資産合計	51,360	56,744
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,558	11,054
工具、器具及び備品（純額）	365	522
土地	724	724
その他（純額）	11	72
有形固定資産合計	12,660	12,374
無形固定資産		
ソフトウェア	4,370	4,948
ソフトウェア仮勘定	1,695	981
その他	77	76
無形固定資産合計	6,143	6,006
投資その他の資産		
投資有価証券	1,587	1,671
その他	3,406	3,835
貸倒引当金	△359	△392
投資その他の資産合計	4,634	5,114
固定資産合計	23,438	23,495
資産合計	74,798	80,240

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	40,369	42,978
1年内返済予定の長期借入金	9,065	1,015
未払金	2,375	2,939
未払法人税等	99	78
賞与引当金	212	155
その他	4,311	8,251
流動負債合計	56,434	55,418
固定負債		
長期借入金	12,159	17,873
株式給付引当金	213	216
退職給付に係る負債	59	66
資産除去債務	1,281	1,300
その他	294	288
固定負債合計	14,009	19,745
負債合計	70,443	75,164
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,962	6,410
資本剰余金	2,128	2,577
利益剰余金	△3,583	△2,872
自己株式	△166	△1,063
株主資本合計	4,340	5,051
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12	23
為替換算調整勘定	△36	△29
退職給付に係る調整累計額	33	30
その他の包括利益累計額合計	10	24
非支配株主持分	3	—
純資産合計	4,354	5,075
負債純資産合計	74,798	80,240

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	23,991	28,729
売上原価	15,517	18,644
売上総利益	8,473	10,084
販売費及び一般管理費	8,021	9,098
営業利益	452	986
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	8	10
諸債務整理益	39	23
助成金収入	89	87
その他	5	9
営業外収益合計	142	132
営業外費用		
支払利息	184	129
持分法による投資損失	37	—
その他	43	47
営業外費用合計	265	177
経常利益	329	940
特別利益		
関係会社株式売却益	678	—
特別利益合計	678	—
特別損失		
減損損失	—	150
特別損失合計	—	150
税金等調整前四半期純利益	1,008	790
法人税等	68	82
四半期純利益	940	707
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	940	710

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	940	707
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	11
退職給付に係る調整額	△0	△3
持分法適用会社に対する持分相当額	8	6
その他の包括利益合計	5	14
四半期包括利益	945	721
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	945	724
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年8月10日開催の取締役会決議に基づき、2023年8月31日付で株式給付信託への追加拠出に伴う新株発行を実施し、この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ448百万円、自己株式が896百万円増加しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、一部の連結子会社を除き、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

当社グループは単一の報告セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

当社グループは単一の報告セグメントであるため、記載を省略しております。